資料 No.3

2018 年 3 月 19 日
JUSTICE 運営委員会

JUSTICE における Open Access に係る活動状況報告

1. 海外の状況に関する情報収集
・ドイツ Project DEAL と Elsevier との交渉状況
・Elsevier の OA に関する論考（Elsevier Connect, 2017/9/26）と，それに対する反響
・オランダ，イギリスにおけるオフセット契約の状況
・フィンランド FinElib と Elsevier との購読および OA 出版に関する合意　ほか

2. 論文公表実態調査
(1) Hybrid OA の特定・集計
・Clarivate Analytics 社が Web of Science の論文データに，OA 区分フラグ（Gold / Green Published / Green Accepted / 非 OA）の付与を開始した。
※“Gold“は，Full OA と Hybrid OA の両方を含む。
・このデータを入手することにより，Hybrid OA を含む OA 論文の特定が可能となり，APC 支払推定額の集計も進むことが期待される。

(2) APC 価格調査
・調査対象の Web of Science データに出現した雑誌は，約 9,000 誌である。
・現在，2017 年価格の調査を行っている。

3. OA2020 との情報交換
・OA2020 Transformation Workshop への参加
日　程：2018 年 3 月 6 日(火)～8 日(木)
場　所：Max Planck Digital Library（ドイツ・ミュンヘン）
参加者：市古みどり（JUSTICE 運営委員会委員長／OA2020 対応検討チーム主査）

4. 活動成果の報告
・『大学図書館研究』誌からの執筆依頼
掲載予定：第 109 号（2018 年 8 月頃発行予定）　※J-STAGE での OA 発行
特集名　：小特集「オープンアクセスの現在」(仮)
依頼内容：JUSTICE（OA2020 対応検討チーム）における OA への取り組み状況

■ 2017 年度 OA2020 対応検討チーム メンバー

主査　　市古 みどり（慶應義塾大学）
　　　　奥村 小百合（筑波大学）
　　　　細川　 聖二（東京大学）
　　　　山中　 節子（京都大学）
　　　　笹渕　 洋子（早稲田大学）
　　　　中山　 知士（東京大学）
　　　　砂押　 久雄（東京工業大学）
　　　　長坂　 和茂（京都大学）
　　　　森嶋　 桃子（慶應義塾大学）
　　　　矢野　 恵子（明治大学）
　　　　尾城　 孝一（国立情報学研究所）
　　　　吉田　 幸苗（国立情報学研究所）
顧問　　安達　　 淳（国立情報学研究所）
事務局　小陳 左和子，蔵城　 一樹，山形　 知実（JUSTICE 事務局）